

1 学校教育目標

豊かな心と健やかな体をもち、夢に向かって自ら学ぶ児童の育成

2 評価結果

※評価 A(十分である) B(おおむね十分) C(不十分である) D(改善を要する)

※評価値 A(Avr. 3.6以上) B(Avr. 3.2~3.5) C(Avr. 2.8~3.1) D(Avr. 2.7以下)

分野 領域	番号	回答者	評価項目	前期		後期		改善の方策
				肯定的意見	評価値	肯定的意見	評価値	
I 学 校 運 営	1	児童	私は、勉強や運動、校外学習などで、夢や目標、めあてをもってがんばった。	94.7%	A(3.6)	95.9%	B(3.5)	全ての項目で90%台を達成できた。学校便りやHPを通じ、行事や取り組みについて、ねらいや成果などと学校教育目標との繋がりが伝わるように意識してきた。今後も、こうした取り組みを通して、地域や保護者に対して学校運営についての理解を深めてもらえるようにしたい。 児童が今後も楽しく過ごすことができるよう、「分かる授業」「自己肯定感の育成」「問題行動の早期発見・早期解決」に努めていく。
		職員	私は、行事や体験的な教育活動の際、児童に目当てを持たせている。	100.0%	A(3.9)	100.0%	A(3.7)	
	2	保護者	学校は、保護者や地域に対して学校経営方針を示している。	96.4%	B(3.4)	98.0%	B(3.4)	
		職員	私は、学校経営方針に基づいて、教育活動を行なっている。	100.0%	A(3.8)	100.0%	A(3.8)	
	3	児童	私は、勉強や運動、校外学習などを通して、成長したと感じている。	93.3%	A(3.6)	97.3%	A(3.6)	
		保護者	学校は、日常の教育活動や行事、校外学習を通して、児童の育成を行なっている。	100.0%	B(3.5)	100.0%	A(3.6)	
	4	児童	私は、学校で楽しく過ごすことができた。	92.0%	A(3.7)	94.6%	A(3.7)	
		保護者	お子さんは、学校へ楽しく登校している。	96.5%	B(3.5)	100.0%	A(3.6)	
		職員	児童は、学校へ楽しく登校している。	100.0%	A(3.6)	100.0%	B(3.3)	
II 学 習 指 導	5	児童	私は、授業を通して、分ったことやできるようになったことがある。	94.7%	A(3.6)	97.3%	A(3.8)	ほとんどの項目で90%以上を達成できた。思考力の向上のために学習内容を言語化させることを全校で取り組んでいる。さらなる向上を目指して引き続き取り組んでいく。 また、一定水準の授業の担保と若手職員の育成のために「鶴巻小授業展開モデル」「板書の基本形」を提示して授業を行っている。全職員が意識して取り組んでおり、成果が上がっており、今後も継続していく。 タブレットPCについては、教材の視覚化、協働学習、調べ学習、個別学習で活用している。効果的な使い方についても共有している。 タブレットPCを使用する機会については、児童に選択権があるわけではない、学習への有効性に変更するつもりである。
		保護者	学校は、分かりやすい授業を行なっている。	96.4%	B(3.4)	98.0%	B(3.4)	
		職員	私は、分かりやすい授業を行うよう努めている。(教材研究・めあての提示・学習形態や発問の工夫等)	100.0%	B(3.5)	100.0%	A(3.7)	
	6	児童	私は、一生懸命に授業に取り組んだ。	97.3%	A(3.6)	98.6%	A(3.6)	
		保護者	お子さんは、学ぶ意欲をもち、学習に取り組んでいる。	92.6%	B(3.2)	94.0%	B(3.2)	
		職員	私は、児童の学ぶ意欲が高まるような働きかけ(励まし・賞賛・承認等)を行なっている。	100.0%	A(3.7)	100.0%	A(3.7)	
	7	児童	私は、習ったことを生かして説明したり、学習のまとめを書いたりしている。	85.3%	B(3.3)	85.1%	B(3.2)	
		職員	私は、「鶴巻小授業展開モデル」「板書の基本形」に則った授業を行っている。	100.0%	A(3.6)	100.0%	A(3.7)	
		職員	私は、授業で児童の思考力を高める発問や学習活動を行っている。	100.0%	B(3.3)	90.9%	B(3.5)	
	8	児童	私は、学習でタブレットPCを進んで使っている。	81.3%	B(3.2)	83.8%	B(3.2)	
		保護者	お子さんは、学習でタブレットPC等のICT機器を活用していると言っている。	91.2%	B(3.3)	89.4%	B(3.3)	
		職員	私は、授業のねらいを達成するために、ICT機器を活用している。	100.0%	B(3.5)	91.0%	B(3.4)	
	9	児童	私は、家庭学習(宿題や自主学習)をがんばっている。	85.3%	B(3.4)	89.2%	B(3.4)	
		保護者	お子さんは、家庭学習(宿題や自主学習)をしている。	87.5%	B(3.3)	88.7%	B(3.2)	
		職員	私は、児童の興味関心や学力の向上を意識した家庭学習(自学ノート等)を工夫している。	100.0%	C(3.0)	90.0%	C(3.1)	
	10	児童	私は、進んで読書をしている。	84.0%	C(3.2)	74.3%	B(3.2)	
		保護者	学校は、読書への意欲を高めたり、読書環境を整えたりしている。	92.9%	B(3.3)	92.0%	B(3.2)	
		職員	私は、司書を利用するなどして、読書への意欲を高めたり、読書環境を整えたりしている。	100.0%	A(3.8)	100.0%	A(3.8)	
III 生 徒 指 導 ・ 道 徳 ・ 人 権 教 育	11	児童	私は、友達をいじめたり、見て見ぬふりをしたりしていない。	96.0%	A(3.7)	94.6%	A(3.7)	全ての項目で90%台を達成している。これは道徳の授業を核としたすべての教育活動の成果であると考えられる。 数値からも、いじめや問題行動の未然防止、早期発見・早期対応がわかる。このことから、引き続き家庭にも協力してもらいアンケートを行っていく。 児童間のトラブルについては減少傾向にあり、考え方の違う他者を認める行動が採れる児童が増加しているように感じる。継続して具体的な事例における適切な態度について指導していく。 職員による児童への個別の支援についても高い値を示しており、今後とも職員のコーチングの手法の向上、業務改善による児童と関わる時間の確保、スクールカウンセラーなどの外部機関との連携、保護者への説明などに尽力していく。
		保護者	学校はアンケートや教育相談等の手立てを講じ、いじめ等の問題行動の未然防止、早期発見・早期対応に努めている。	94.5%	B(3.3)	96.0%	B(3.4)	
		職員	私は、アンケートや教育相談等を活様し、いじめ等の問題行動の未然防止、早期発見・早期対応に努めている。	100.0%	A(3.9)	100.0%	A(3.8)	
	12	児童	私は、先生が話をよく聞いてくれたり、困ったときに助けてくれたりすると感じている。	98.7%	A(3.8)	95.9%	A(3.7)	
		保護者	学校は、児童個々の個性や特性に応じ、個別の支援など適切に行っている。	98.1%	B(3.4)	100.0%	B(3.4)	
		職員	私は、児童個々の個性や特性に応じ、個別の支援など適切な対応を行なっている。	100.0%	A(3.8)	100.0%	A(3.6)	
	13	児童	私は、自分と違う意見や考えを認めることができる。	94.7%	B(3.5)	94.6%	B(3.5)	
		保護者	学校は、児童に対し、多様性を認める教育を行っている。	93.6%	B(3.3)	95.8%	B(3.3)	
		職員	私は、児童に多様性を認める教育を行なっている。	100.0%	A(3.8)	100.0%	A(3.6)	
	14	児童	私は、困っている友達に優しく接している。	93.3%	A(3.7)	98.6%	A(3.7)	
		職員	私は、道徳教育や体験活動を通して、豊かな心の育成に努めている。	98.2%	B(3.4)	100.0%	A(3.6)	
IV 保 健 ・ 体 育 ・ 安 全 教 育	15	児童	私は、お家の人とよく話をする。	90.7%	A(3.6)	91.9%	A(3.6)	児童の早寝・早起き・朝ご飯については2回の調査とも90%に届いていない。来年度はメリットについて、4月中に指導を行うとともに、継続的に意識付けの取組を行っていく。 整理整頓については、物の定位置を決めるなどのルールを決め、指導することで習慣化を図っていく。 挨拶については、朝、できる限り校長が児童昇降口に立ち行った。今後も継続していく。歌(特に校歌)については、ふるさと教育の一貫としても年間を通して今後も行なっていく。 上の学年のリーダーシップ、下の学年のフォローウーシップの指導については、一定の効果を上げている。引き続き年間を通じた継割り活動、異学年交流を続けていく。
		保護者	家庭は、お子さんと十分なコミュニケーションが図れている。	100.0%	B(3.3)	98.0%	B(3.3)	
		職員	私は、児童とコミュニケーションが図れている。	100.0%	A(3.7)	92.3%	B(3.5)	
	16	児童	私は、早寝・早起きし、朝ご飯を食べている。	89.3%	B(3.4)	89.2%	B(3.3)	
		児童	私は、身のまわりの整理整頓をしている。	89.3%	B(3.3)	90.5%	B(3.4)	
		保護者	家庭は、お子さんに基本的生活習慣を身につけるように努めている。	96.5%	B(3.3)	100.0%	B(3.4)	
		職員	私は、児童に基本的生活習慣を身につけさせるように努めている。	100.0%	A(3.6)	100.0%	A(3.9)	
	17	児童	私は、あいさつをしたり、がんばって歌を歌ったりしている。	90.7%	B(3.5)	95.9%	A(3.6)	
		保護者	お子さんは、時と場に応じた挨拶をしている。	96.4%	B(3.2)	95.9%	C(3.1)	
		職員	私は、児童に対し、挨拶や歌声の指導を行っている。	100.0%	A(3.6)	100.0%	A(3.6)	
	18	児童	私は、そうじや係、給食当番、委員会の仕事をしっかり行っている。	96.0%	A(3.7)	96.0%	A(3.7)	
		保護者	お子さんは、手伝いなどを行っている。	87.7%	B(3.2)	88.9%	B(3.2)	
		職員	私は、児童に役割を与え、責任感や協調性、コミュニケーション能力等の育成に努めている。	100.0%	A(3.6)	100.0%	A(3.8)	
	19	児童	私は、雑割り活動や異学年交流で、下の学年の面倒をみたり、上の学年を支えたりしている。	97.3%	B(3.4)	95.9%	B(3.4)	
		保護者	お子さんは、学校で、目当てを達成するために、下級生の面倒をみたり、上級生を支えたりする様子が感じられる。	87.0%	B(3.3)	93.8%	B(3.2)	
		職員	私は、雑割り活動や異学年交流を通じて、リーダーシップやフォローウーシップの育成に努めている。	100.0%	B(3.5)	100.0%	A(3.8)	
V 地 域 ・ 家 庭 と の 連 携	20	児童	私は、体育の授業や休み時間のときに、進んで体を動かしている。	89.3%	A(3.6)	100.0%	A(3.7)	体力向上に関する質問については、児童・保護者・職員が100%を達成した。本校は、体育の授業や業間マラソンだけでなく、業間や昼休みに児童と一緒に体を動かす職員が多く、児童が体を動かす動機付けになっていると推察する。こうした取組を継続するとともに、職員が児童と関わる時間をさらに確保するために、業務改善に努めたい。 SNSとの付き合いについては、担任だけでなく、高学年を対象に外部講師を招聘したり、全校集会で生徒指導担当から指導を行っている。家庭にも協力を求め、児童の心の健康を守りたい。 病気や怪我の予防については、年間5回、身体測定や体重測定の際に養護教諭が行っているミニ授業が効果を発揮している。季節や行事、学習内容に合わせたものとなっており、今後も継続させていきたい。
		保護者	学校は、体育的行事や外遊びを通して、体力向上に努めている。	96.4%	B(3.4)	100.0%	B(3.5)	
		職員	私は、体育的行事や外遊び等を通して、体力向上に努めている。	100.0%	A(3.6)	100.0%	B(3.5)	
	21	児童	私は、健康や安全に気を付けて生活している。	96.0%	A(3.6)	97.3%	A(3.6)	
		児童	私は、病気の予防や災害(地震や火事、不審者への対応など)、SNS等での身の守り方を知っている。	93.3%	A(3.6)	91.9%	A(3.6)	
		保護者	学校は、感染症対策等、健康(体育・食育)や安全に関する指導の充実に努めている。	100.0%	B(3.4)	95.9%	B(3.3)	
		保護者	学校は、避難訓練・防犯訓練、情報モラル教育等の安全に関する指導を適切に実施している。	100				